

キャンピングカー/タイヤトラブルの危険性あり!

キャンピングカー 点検結果ニュース

【発行】
一般社団法人
日本自動車タイヤ協会
一般社団法人
日本RV協会

一般社団法人日本自動車タイヤ協会は、一般社団法人日本RV協会の協力を得て、2018年2月3日・4日、幕張メッセ西駐車場においてユーザーが使用中のキャンピングカーの重量測定等タイヤ点検を実施した。



CAUTION

タイヤの負荷率90%超の 車両は3台に2台!!

今回点検をした17台の内、タイヤの負荷率が90%を超えている車両は11台あった。これらの車両は、あと少し積み荷が増えたら、タイヤの負荷能力をオーバーする恐れがある。

※装着タイヤサイズ/実際の空気圧にてタイヤの負荷能力(タイヤが耐えられる重量)を算出し、負荷能力に対し、タイヤ1本あたりの負荷重量が4本の内1本でも90%を超えている車両。



CAUTION

指定空気圧は 下限値です!!



特にキャブコンの後輪は、タイヤの負荷能力に余裕が少ない傾向にあることがわかった。今回重量測定をして、タイヤの負荷率が90%を超えていたキャブコン(9台)の後輪の平均負荷率は約94%、余裕代で見ると、約6%(約54キロ)しかない。

特にキャブコンの後輪では、タイヤの負荷能力に余裕が少ない傾向にあることがわかった。今回重量測定をして、タイヤの負荷率が90%を超えていたキャブコン(9台)の後輪の平均負荷率は約94%、余裕代で見ると、約6%(約54キロ)しかない。

もっともタイヤに負荷がかかっていたケース

負荷率	108%
負荷能力	80kgオーバー
車両タイプ	キャブコン
装着位置	後輪

タイヤの
負荷能力オーバー!

走行中も含め、指定空気圧を少しでも超えると危険と認識しているユーザーが複数おり、空気圧を下げてしまっていた。

今回最も負荷がかかっていたタイヤの負荷率を調べると、108%とタイヤの負荷能力を80キロオーバーしていた車両も確認できた。



今回の調査では、17台中11台、約65%もの車両が指定空気圧を下回っていた。

空気圧不足も 3台に2台!!

CAUTION

警告

タイヤの負荷能力オーバーや空気圧不足になると...
タイヤの損傷の懸念、燃費の悪化

むやみな積み込み 空気圧不足は

危険

詳しくは裏面へ▶